

# ネパールの子ども元気に

## 大地震で被災、GW三島が招待

### 名所散策や清掃体験

2015年4月に大地震の被害に遭ったネパールの子どもたちを励まそうと、三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島が20日、14〜15歳のネパール人4人を市内に招待した。4人は源兵衛川や楽寿園など市内の名所を散策し、GW三島が日頃行っている清掃作業なども体験した。



同市南本町の三島梅花藻の里では水の中に足を踏み入れ、ミシマバイカモから不純物を取り除く作業を体験した。大地震で自宅が壊れ、2カ月間テント生活を送ったというサウラブ・ニラウラさん(15)は「外国に来るのは初めて。三島はきれいな街」と印象を話し、「ネパールの川もみんな

で掃除したらきれいになる」ということを友達に伝えたいと話した。4人はネパール・日本友好協会(山梨県)が10年ほど前から行っている交流行事の一環で来日した。GW三島がネパールの復興支援や環境再生活動に取り組んでいる縁で、昨年頃から数日間、市内に招待している。

市内でホームステイしながら23日まで滞在する。野菜の収穫や伝統芸能のしゃぎりの体験などを行う予定。

(三島支局・市川雄二)

▲ミシマバイカモから不純物を取り除くネパールの子どもたち。三島市南本町の三島梅花藻の里